



紙芝居「森」

は、事前に準備した木の枝の輪切りの中から各自が顔・目・鼻・口・耳などのパーツになるものを選んでボードで貼り合わせ、「クマ」「う

らった後、クラフト作りに取りかかりました。

一・二年生に「人工林を作ったらしいから、木の利用を考えた森林や自然環境への興味に繋がることを願っています。」

なお、今回は環境省土佐清水自然保護管事務所から二名の職員が当ふれあいセンターの取組に深い関心をもって見学に見えていました。

その中で、今年九月に紀伊半島を襲った台風一二号の降水量は、奈良県上北山では三日間で一、六五一ミリメートル、これを教室に貯めると大人の身長程の深さになることや、昨年、一

また、サクラの枝などを使った「木工クラフト」では、お父さん、お母さんに交じり、おじいちゃんやおばあちゃんの参加もあり、汗を拭きながら仲良く工作する微笑ましい光景が見られました。

九月二十九日、土佐清水市立幡陽小学校で、一〜四年生一七名を対象に、木工ク

ラフトを実施しました。はじめに、動物達と人間が「森林の大切さ」「素晴らしさ」とそれを守り育てる内容の紙芝居「森」を上映し、森林は大切なものであることなどを理解してもらった後、クラフト作り

「一番楽しかったのは、色々な木や枝を使ってカブト虫とか作ったことです」などの感想文が寄せられました。

「森林のはたらき」では、森林には「水を蓄える」、「山崩れを防ぐ」、「快適な環境をつくる」、「地球の環境を守る」などの働きがあることを学習しました。

また、子ども達に降ったの。おぼれてしまった。すると、子ども達は「たった三日間でそんな

### 「木工クラフト」 「ふれあいセンター」

ラフトを実施しました。はじめに、動物達と人間が「森林の大切さ」「素晴らしさ」とそれを守り育てる内容の紙芝居「森」を上映し、森林は大切なものであることなどを理解してもらった後、クラフト作り

「人工林を作ったらしいから、木の利用を考えた森林や自然環境への興味に繋がることを願っています。」

一〇月一四日、四万十市立中村南小学校の四年生二六名を対象に、参観日に合わせた森林教室を行いました。同校での森林教室は初めてのことで、最初にスライドで当センターの活動内容と「森林のはたらき」について説明しました。

また、今回、短期間の大雨で山が崩れ「土砂ダム」ができたが、もしこの山に樹木などが生えていなくて裸地であったなら、もっと大きな山崩れが発生していたであろうことなどを説明しました。

## 各地のたより



「さぎ」などのストラップが完成しました。

三・四年生は、ノコギリを使って枝を輪切りにしたり、枝の先を削ったりして「カブトムシ」「モックン」などを作りました。

### ふれあい木工クラフト 「ふれあいセンター」

年間の学校周辺（四万十市中村）の降水量は二、九九三ミリメートルだったことなどを説明しました。



保護者も真剣に



ふれあいの場ともなった初めての森林教室は、保護者も大変喜ばれていたとのこと、先生からは、早速、今後の森林教室について相談されました。



森林整備に参加の方々

前回に引き続き針広混交林に誘導するためブナ、ヤマボウシ、ヒメシヤラの植栽を行いました。まず、三谷署長の挨拶の後、作業手順を確認し、それぞれ作業

が参加して、ボランティアとの協働で森林の整備を進めることを通じて、森林の持つ度発揮や市民の理解と協力が進むように取り組んでいきたいと考えています。



樹木プロテクターの設置

一〇月二六日、釜ヶ谷一〇三林班の「ふれあい高城の森」で(社)高知林業土木協会のボランティア活動が行われました。

当日は、協会から一三名と当署から署長、木頭森林官、森林ふれあい係長

が参加して、ボランティアとの協働で森林の整備を進めることを通じて、森林の持つ度発揮や市民の理解と協力が進むように取り組んでいきたいと考えています。

ふれあい高城の森で  
ボランティア活動  
〈徳島森林管理署〉

ふれあい高城の森(四・五九ha)は、平成一五年に高知林業土木協会「四国の森づくりに参加する会」と協定を締結し、以来、間伐や広葉樹の植栽など、毎年二回、森林整備を実施しています。

に取りかかりました。当日もニホンジカの鳴き声が聞こえるなど、この付近でもニホンジカが増加しており、植栽木には樹木プロテクターの設置が欠かせません。参加者は、気温の低い中、汗を流しながら、約二時間かけて五〇本の広葉樹を植え込みました。



一〇月二二日、佐喜浜の源木を育てる会（会長田村拓氏）と安芸森林管理署が協力し、公募で選ばれた三八名が参加して、天然杉の名札の製作、森林体感ツアーを楽しみました。

当日は、室戸市の職員、高知県森と緑の会の職員もスタッフとして参加されました。はじめに体育館でグループに別れてそれぞれの思いを込めて楽しく名札を製作しました。

岩佐の関所  
段ノ谷山登山  
天然スギの名札製作と  
森林体感ツアー  
〈安芸森林管理署〉

天候が心配されましたが小雨になり、予定どおり岩佐の関所目指して、登山を開始し、岩佐の関所では、地元歴史研究家の方より史跡について詳しい説明を受けました。また、登山途中では、樹木医の野島氏より樹木について説明を受け、職員の「森に関わる話」を



天然杉の名札

聞いたたりして、小雨の中を楽しく歩き、段ノ谷天然杉と遭遇しました。参加者は、天然杉の雄大さや個性ある表情に感嘆し、来て良かったと感想を述べていました。今回は足元の悪い中での登山でしたが、今度は、もう一度晴れの時に来たいとの声が多く聞かれました。参加者・スタッフ一同楽しい一日を過ごしました。



職員による森に関わる話

